

天皇を中心とした国づくり

大陸に学びながら、3つの段階で進んだ国づくり

大陸（中国・朝鮮半島）から、政治のしくみや文化・仏教を取り入れる



聖徳太子の政治

7世紀のはじめ



冠位十二階

家がらにとらわれず、
能力のある人を役人にする



十七条の憲法

役人の心がまえを示す



遣隋使

隋（中国）に使いを送り、
政治のしくみや文化を学ぶ



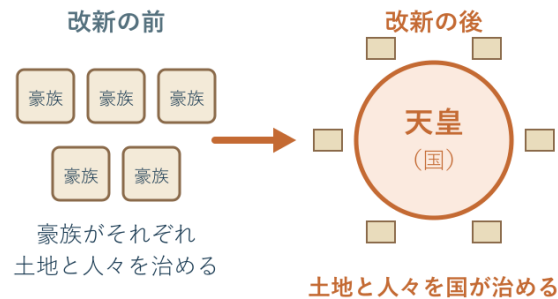
法隆寺

仏教を大切にする

大化の改新

645年から

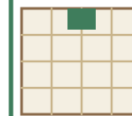
中大兄皇子と中臣鎌足らが、
天皇中心の国づくりを始める



税や役所のしくみを整え、
天皇を中心とする政治が進む

聖武天皇の政治

8世紀



平城京（710年～）

唐の都にならった
都で政治を行う



国分寺

国ごとに寺を建てる



東大寺の大仏

大仏をつくる（752年 開眼）。
行基が人々に協力を
よびかけた

仏教の力で、社会の不安をしずめ、国を治めようとした

聖徳太子の政治

聖武天皇

600年

645年

700年

710年

752年

模式図。人物は名前だけを示した。年代は教科書の年表と照合する。